

平成30年度 市有施設のエネルギー使用量

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

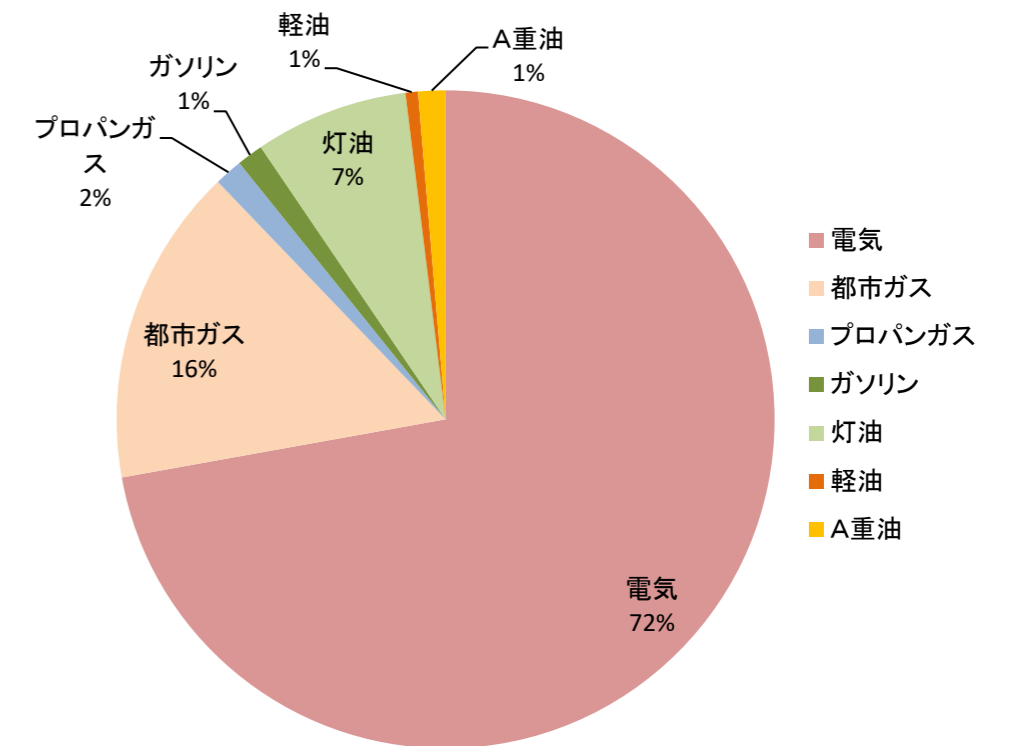
市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など:1428施設)における電気、ガス、灯油等と、庁用車(578台)のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり。

種類別	平成30年度 報告使用量	平成30年度 原油換算量(kℓ)	平成29年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) " (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電気	82,708 MWh	21,275	21,289	△ 14 (△ 0.1%)	72%	サンマリーンながのの通年稼働による増 ボブスレー・リュージュパークの製氷休止、各施設での空調利用等の抑制による減
都市ガス	4,152,355 m ³	4,617	4,179	438 (+10.5%)	16%	サンマリーンながのの通年稼働による増
プロパンガス	155,833 m ³	407	418	△ 11 (△ 2.6%)	2%	プール施設等における温水器使用の減
ガソリン	426 Kℓ	381	394	△ 14 (△ 3.3%)	1%	ボブスレー・リュージュパーク内での送迎回数、庁用車の低燃費車への入れ替えによる減
灯油	2,349 Kℓ	2,224	2,363	△ 140 (△ 5.9%)	7%	各市有施設での暖房利用の抑制による減
軽油	185 Kℓ	180	249	△ 69 (△ 27.7%)	1%	スキー場での圧雪車の使用、下水道汚泥の処理施設(アクアパル)への運搬回数の減
A重油	392 Kℓ	396	369	26 (+7.3%)	1%	購入時期による増
合計		29,478	29,262	216 (+0.7%)	100%	

平成30年度 市有施設のエネルギー種類別構成比(原油換算)



(3) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

平成30年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり。

年度	使用量 (長野市民病院を含まない)
H26	29,171 Kℓ
H27	29,542 Kℓ
H28	28,674 Kℓ
H29	29,262 Kℓ
H30	29,478 Kℓ

(Kℓ) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

